

第 3 回 厚生文教常任委員会 概要報告

年 月 日	令和 7 年 8 月 20 日	会場	第 1 委員会室	案件	所管事項の調査
出席委員	高橋伸典、今村芳彦、東千春、高野美枝子、倉澤宏、谷聡				
委員外議員					
欠席委員	佐藤靖				

調査・報告事項

【市立総合病院事務局】

1. 名寄市立病院事業の設置等に関する条例の一部改正について

名寄市立病院の一般病床を10床削減し290床としたうえ、病床数適正化支援事業により削減1床あたり4,104千円の交付金が見込まれる。定例会提案予定であり質疑は議場で行うこととした。

2. 脳神経外科診療体制について

令和7年3月に脳神経外科医2名が退職したが、4月からは旭川赤十字病院から出張医の派遣を受け診療体制を維持している旨の報告があった。

【名寄市立大学】

1. 令和8年度学生募集・確保について

(1) 令和7年度オープンキャンパスの実施状況について

昨年の反省を活かし、名寄高校学校祭を避けた開催とした。

第1回 6/28 参加者 140人、保護者参加 126人

第2回 8/10 参加者 193人、保護者参加 201人

第3回 9/27 予定

(2) 高校訪問・進学相談会の状況について

学内で担当教員他で執り行っており、道内の高校はおおむね終了、道外でも71校に訪問した。進学相談会も道外1件を含む57件を終えており、今後も33件に参加予定

(3) 名寄市立大学トークイベント2025 in HTB 本社スタジオの開催について

10/18日に札幌創生スクエアにて進学イベントを実施する旨報告があった。

<質疑>

問 オープンキャンパスは重要である。前年比して工夫した点や変更点はあるのか。

答 保護者に学内の見学時間を取るなどした。

問 多くの人数が参加していた。混乱等はなかったのか。

答 学生とも協力しスムーズな開催だと認識している。

2. 学生の就職活動の状況について

令和8年3月卒業見込み者の就職内定状況は7月末日現在で23.3%であり、発表が遅い場合や資格取得後の就職活動を予定するなど今後上昇するものと報告があった。

また、同内外の団体による就職合同説明会や地元定着化に向けた名寄の仕事ミニジョブカフェなどの取り組みの報告があった。

<質疑>

問 市内を希望する学生はいるのか

答 数名の生徒から情報を得ているほか、就学支援資金に関する支援メニューも説明している。

【健康福祉部】

1. 第3回定例会提案予定の議案について

地域介護・福祉空間整備当施設整備事業費、介護保険特別会計の介護給付費負担金返還に関する提案の旨であり質疑は議場で行うとした。

2. 各課報告事項等

(1) 社会福祉課

① 低所得者給付 令和6年度物価高騰重点支援給付金

R6 住民税非課税世帯 3337世帯 支給合計 100,110千円

低所得者子育て世帯加算 129人 87世帯 2,580千円

② 戦没者追悼事業

戦没者追悼式が7月10日に行われ、エンレイホールでの式典ほか平和音楽大行進、協賛行事として銃剣道大会、弓道大会が開催された旨の報告があった。

(2) 保健センター

① 新型コロナワクチン助成事業について

B類疾病の定期予防接種に位置づけられおり、国は令和7年度から助成を無くす方針を決定したことうけ約5割の助成を行う。

<質疑>

問 今後も助成するのか。

答 道内他市町村ではほぼ実施しており続ける意向である。なお助成対象者は低所得者や高齢者に限られているうえ、助成額の3割が交付税措置される。

② 第 35 回なよろ健康まつりについて

8 月 2 日、イオン名寄ショッピングセンターで開催され、11 団体 102 名が参加し、来場者数は延べ 1,758 名であった。

(3) こども未来課

① 名寄市認定こども園あいあい公開保育および保育研究の実施について

○市立保育所では 3 年前から「主体的な保育とは」をテーマに名寄市立大学の先生がたから助言を頂きながら「こどもの主体性を大切にする保育」を目指している。

近隣市町村の関係施設にも案内し、今後は事後アンケートによる集計・分析を行い研究課題として発表する予定。

② 乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)について

○全ての子育て家庭に対して支援を強化する目的で同事業が令和 8 年 4 月 1 日から本格実施となることをうけ、事業内容を踏まえた課題の洗い出しと今後のスケジュールが示された。

○国の動向を踏まえ、本市でも第 4 回定例会において、確認基準と運営基準に必要な条例案を提出する予定である。

(4) 高齢者支援課

① 令和 7 年度名寄市「長寿を祝う会」および「生きがい作品展」について

長寿を祝う会 9 月 20 日 エンレイホール

生きがい作品展 9 月 17 日～23 日 市民文化センター

【教育部】

1. 学校における工事等の概要について

・学校空調設備設置工事

名寄南小学校、風連中央小学校、風連中学校、智恵文小中学校で工事が進み、年度内に終了予定

・屋内運動場非構造部材等改修工事

名寄東小学校で天井材の除去、バスケットゴールの更新、その他機器等の耐震補強が 9 月 5 日に終わる予定

・名寄中学校改築工事(解体設計委託)

年度末までに解体設計終了予定

・名寄東中学校改修工事(工事監理業務委託)

年度末まで改修工事における工事監理

・学校給食センター空調機用蒸気配管改修工事

給食提供の影響がないよう長期休業期間に実施し 2 月末までに終了予定

2. 部活動の地域展開に向けた取組について

・名寄市部活動改革推進協議会

令和7年7月2日に第1回会合があり、18名の委員で構成。文化芸術部会、運動部会それぞれ所属し、部会毎に裁量権を持つ。

これとは別にスポーツ団体。部活動顧問全体会議を組織し、今後の地域展開のあり方やスケジュール等を確認する。

・運動部活動への拠点校方式の導入

人数の多い活動では複数の学校が拠点校となっている旨報告があった。

・部活動間バス移動モデル事業

長期休業期間中の運行を土日に準じることとし、持続可能なあり方について検証する旨の報告があった。

<質疑>

問 これまで地域移行とされていたが、地域展開とは何か。

答 スポーツ庁と文化庁の有識者会議において、地域移行では「地域が行う」というイメージにとられるが、地域で生徒の活動を支えていこうという趣旨で変わったが、活動自体が変化するものではない。

問 人数が多いと地域展開も難しくなるのではないか。合意形成に向けて難航している状況はあるのか。また、受入が出来ない場合は土日の活動を行わない認識で良いのか。

答 活動場所や指導者の確保が課題であり、今後も競技団体と対話を重ね解消できるよう進めていきたい。受入が出来なくならないよう、話し合いを進めていく。

問 他の自治体では地域展開に向けた協議内容や議論を公開しているケースがある。本市も開示しないのか。

答 名寄市HPで公開する予定である。

3. 令和7年度全国学力・学習状況調査結果の概要について

・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力が学習状況を把握分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることと学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善を図ることを目的として調査を行っている。

・小学生 国語 67(66.8) 算数 55(58) 理科 58(57.1) (カッコ内は全国)

・中学生 国語 51(54.3) 数学 44(48.3) 理科 478(503) (カッコ内は全国)

上記結果から、課題と成果を分析している。

<質疑>

問 今回の調査をうけ各学校での分析と授業改善を行うのか、教育改善プロジェクト委員会として全小中学校一体となって考えるべきなのか。考え方は。

答 基本的には各学校で結果を分析し、授業改善を行う。教育改善プロジェクトも学習に関わり、各学校の取り組みを共有しながら事例を共有し進める。

問 中学校の結果から学習意欲の低下が読み取れるが指導主事としてどのように受け止めているのか。また具体的な指導はどのように行うのか。

答 知識および技能と思考力判断力表現力が少し落ちている。こどもたちが授業で考え判断し表現することを伝えていきたい。また国語は伸びており、主体的対話的で深い学びの実現に向けた教育改善が進められた結果と捉えている。

問 資料から、家庭での学習時間の短さが大きな要因になっているように見えるがどのように捉えているのか、また改善は。

答 因果関係は現在分析中であるが、学習時間が少ないことは影響しているところはあると思う。今後はAIドリルを活用した家庭学習の取り組みなど先生方の中でも効果的な手法を研究している。

4. 令和7年度名寄高校生とおよび保護者アンケート調査結果の概要について

・現在の高等学校支援事業について今後の支援等の検討に係る参考とするため、生徒と保護者を対象に行った。

・グーグルフォームを活用し、生徒 389 人中 254 人の回答(65. 3%)、保護者 240 人から回答があった。

・生徒

・志望理由 (多い順)

通学距離が近い 52%

学校が楽しそう(学校祭等)51. 2%

校風やイメージが良い 29. 5%

自分の学力に合う 26. 4%

このほか部活動 24%、知り合いが通っていた(いる)18. 9%、進学に有利 15%、となっている。

・資格取得に有利であるとの選択肢は少なく、資格取得支援事業の周知が不足している者と考えている。

・高校を選時は家族や学校の先生からアドバイスを多く得ることが多く、中学3年生でほとんどの生徒が進学先を決定している。

・出身地は名寄市内が3分の2を占め、8割が一般入試で入学している。

・保護者

- ・入学先は子どもが選ぶ 92. 5%
- ・高校に関する情報源は 高校説明会、パンフレット、HPを参考にしている。
- ・学習教材支援事業補助金は 42. 9%、生徒資格取得費補助金は 25%、アオハル応援事業補助金は 18. 3%の保護者が知っていた。そのうちほとんどが高校説明会やパンフレットで知った。
- ・今後入学者増加に向けて効果的と考えられる支援策は自由記述であるが、通学関係 40 件、経済的支援補助金など 26 件、給食・学食関係 21 件、その他となっている。

<質疑>

問 名寄高校を選択しなかった市内中学生のアンケートも重要ではないのか。

答 本来であれば望ましいが、今後中学生へのアンケートも検討したい。

問 以前の一般質問で学校給食の提供が難しいとの答弁があったが、アンケート結果からニーズがあるのではないかと。具体的に進める可能性はあるのか。

答 給食センターの施設の問題もあり、可能性はゼロではないが低い。

問 以前の一般質問で施策の充実に取り組むとあったが、今回の結果を踏まえ何か考えはあるのか。

答 アンケートから、子どもが学校を選んでいる実態が明らかになったことから、子どもにPRすることが志望率を上げることとなると感じており、アンケート結果を活用しながら効果的な支援策を検討したい。

5. 学校施設環境改善交付金について

報道の通り名寄中学校改築工事に係る交付金が採択されていない状況だが、継続事業のうち今年度中の補正予算等で追加財政措置があった場合は優先的に採択されると聞いている。

道教委を通じ国に要望を行っているほか、市長も上京し関係機関と連名で要望書を提出している旨報告があった。

6. 杉並区・名寄市こども交流事業および市民盆踊り大会について

・杉並区・名寄市こども交流事業

7月から8月にかけて開催。大きな混乱もなく楽しんで帰ってきており、現在アンケートを回収するほか写真展に向けて作業中である旨報告があった。

・市民盆踊り大会

水はけの問題や実行委員会委員の交代等により、南広場からエンレイホール西側駐車場で開催となった。新聞報道で960名の参加があり、よかった。旨の報告があった。

7. 放課後児童クラブへのWi-Fi設置について

学習機会の増加に向け、一人一台端末の利用が可能なように整備を進めており、夏休みから供用が開始された。

8. きたすばる「星と音楽の集い 2025」(星まつり)の中止について

- ・ヒグマの出没が相次いだことをうけ中止とした。
- ・なお展示予定物は北国博物館2階で開催した。

【市民部】

1. 令和7年度名寄市国民健康保険および後期高齢者医療「資格確認書・資格情報のお知らせ」の更新について

・従来の健康保険証が新たに発行されなくなったことをうけ、被保険者に対し新しく資格確認書または資格情報のお知らせを送付した。

○国民健康保険

- ・マイナ保険証を持つ方: 資格情報のお知らせ 2,602 件
- ・マイナカード取得してない、または保険証として登録していない方: 資格確認書 1,358 件

○後期高齢者医療

- ・暫定運用の延長により全員: 資格認定書 5,125 件

2. (仮称)名寄地区一般廃棄物中間処理施設建設工事請負契約の変更について

令和7年8月1日開催の名寄地区衛生施設事務組合議会臨時会において変更が議決された。

・(仮称)名寄地区一般廃棄物中間処理施設建設工事

変更前 71 億 2,690 万円

変更後 75 億 4,769 万 4000 円 (4 億 2,079 万 4000 円増)

相手方 東京都中央区明石町 8 番 1 号 三機工業株式会社

3. 令和9年4月から変わるゴミの処理・区別区分などに関する説明会の開催結果等について

名寄地区衛生施設事務組合で建設している新しいゴミ処理施設の稼働にともない、ゴミ処理や分別区分などが大きく変わることから説明会を開催した。

・市民向け説明会 7 回 142 人

・事業者向け説明会 1 会場 2 回 23 事業所

・収集運搬業者向け説明会 1 会場 1 回 55 事業所 80 人

・今後、収集業者との協議を重ね、来年3月までに構成4市町の意見集約と方針決定、条例制定を目指し、以後市民説明会の開催とガイドブック作成を行う。

4. 令和6年度市税収納状況と道内都市における名寄市の収納率

・令和6年市税収納状況 現年課税分 30 億 2,095 万 5000 円 と1億円余り増加

・滞納繰越金は収納率が昨年度比7.45ポイント増の1032万9000円

・道内各都市に比較して収納状況は全道平均以上、市税総合で道内35市中4番目

5. 名寄市税条例施行規則の一部改正について

・寄付金税額控除の対象となる法人の解散に伴い、規則にある対象法人を削除するため名寄市税条例施行規則第 17 条第 3 号を改正したい旨報告があった。

以上、概要を報告する。

報告者 市民福祉常任委員会 副委員長 今村 芳彦